

平成23年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	循環型社会形成年次報告策定事務費	担当部局	廃棄物・リサイクル対策部	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成13年度～	担当課室	循環型社会推進室	室長 中尾 豊			
会計区分	一般会計	施策名	4-2 国内及び国際的な循環型社会の構築				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	循環型社会形成推進基本法(平成十二年六月二日法律第百十号)第十四条・・・『年次報告等』	関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	循環型社会形成推進基本法(平成12年法律第110号)第14条の規定により、毎年、循環資源の発生、循環的な利用及び処分の状況並びに政府が循環型社会の形成に関して講じた施策に関する報告書(循環型社会白書)を作成し、国会報告を行う。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	循環資源の発生状況等を踏まえ、従来からの経年的データに加え、毎年度設定するテーマに対応した新たなデータを収集・分析するとともに、他の調査結果を活用して、循環型社会形成推進基本法に基づく循環型社会白書を作成し、国会に提出するとともに、白書の国民への普及啓発事業として白書を読む会を行う。また英語版等を作成し、広く海外等へ情報発信を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	15	14	14	11	8
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	15	14	14	11	8
	執行額	14	17	16			
執行率(%)	93%	120%	113%				
成果指標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (27年度)
	3R対策の一層の充実に向けて3Rの環境負荷削減効果の明確化、情報提供を通じ、国民における3Rの理解と取組を促進し、個々の課題の解決に努めることで、循環型社会形成を目指すこととしている。		成果実績 ①	81.7	81.6	84.3	90
			%	90.8	90.7	93.7	
	成果目標①廃棄物の減量化や循環利用、グリーン購入の意識を持つ 成果目標②具体的な行動を実践する		②	14.1	14.6	12.9	50
達成度		%	28.2	29.2	25.8		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	①循環型社会白書の公表 ②白書を読む会の実施		活動実績 (当初見込み) 件	①1 ②7	①1 ②7	①1 ②7	— (①1、②7) (①1、②7)
単位当たりコスト	(16百万円/回)		算出根拠	執行額/白書の公表回数			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	職員旅費	1	1	人件費等の見直し			
	環境保全調査費	10	8				
計	11	8					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>平成23年度予算において、英語版翻訳費用及び予備調査の合理化減額を図ったところ。引き続き競争性のある契約を実施するとともに、事業の進捗状況を随時把握し、適切な指示を送り続けることで作業の生産性を高める。また、執筆過程から国会提出に至るまでの全ての一連作業を体系的に整理点検し、一部でも合理化・効率化できるものがあれば実施する。さらに成果について、各主体の取組に反映されるよう3R推進全国大会、「Re-Style」HP等の様々な機会やコンテンツで紹介、情報発信をしっかりと実施していく。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>過去の実績等を分析し、事業内容を見直すことで、予算額を削減すべき。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
循環型社会白書の作成に係る経費を削減し、概算要求額を減額。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

環境省
15.8百万円

【一般競争入札 印刷】

A. 日経印刷(株)
0.9百万

平成22年版環境・循環型社会・生物多様性白書の作成及び電子情報整備業務<廃り部負担分>

【企画競争 印刷】

B. 日経印刷(株)
0.5百万

平成23年版環境・循環型社会・生物多様性白書作成支援業務<廃り部負担分>

【総合評価入札 請負】

C. みずほ情報総研(株)
11.5百万

平成23年版環境・循環型社会・生物多様性白書(循環部分)作成に係る基礎調査業務

【随意契約 印刷】

D. (株)高山
1.3百万

平成22年版循環型社会白書翻訳(循環部分/和文英訳)・

【随意契約 印刷】

E. (株)五月商会
0.7百万

「平成22年版循環型社会白書(循環部分/英語版)」印刷

【少額随契 印刷】

F. (株)アーバン・コネクションズ

2010年版英語版環境・循環型社会・生物多様性白書(循環部分)~英訳業務

【少額随契 印刷】

G. 新高速印刷(株)
0.4百万

2010年版英訳版環境・循環型社会・生物多様性白書(循環部分)~印刷業務

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて
補足する)(単位:
百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.みずほ情報総研(株)			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	平成23年版環境・循環型社会・生物多様性白書(循環部分)作成に係る基礎調査業務	11.5			
計		11.5	計		0
D.(株)高山			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
印刷製本費	平成22年版循環型社会白書翻訳(和文英訳)・印刷業務	1.3			
計		1.3	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日経印刷(株)	平成22年版環境・循環型社会・生物多様性白書の作成及び電子情報整備業務<廃リ部負担分>	0.9	2	37%

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日経印刷(株)	平成23年版環境・循環型社会・生物多様性白書作成支援業務<廃リ部負担分>	0.5	随意契約	-

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	みずほ情報総研(株)	平成23年版環境・循環型社会・生物多様性白書(循環部分)作成に係る基礎調査業務	11.5	2	89%

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)高山	平成22年版循環型社会白書翻訳(和文英訳)・印刷業務	1.3	11	38%

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)五月商会	「平成22年版循環型社会白書(英語版)」印刷	0.7	随意契約	-

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)アーバン・コネクションズ	2010年版英語版環境・循環型社会・生物多様性～英訳業務	0.5	随意契約	-

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	新高速印刷(株)	2010年版英訳版環境・循環型社会・生物多様性～印刷業務	0.4	随意契約	-